

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	新発田市	(都道府県: 新潟県)
本事業の担当部局名	みらい創造課	

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり機運醸成事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施		
個別事業名	中学生向けライフデザイン講座	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	事業開始年度	令和 3 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,848,000		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 全国的に少子化が進む中、当市の出生率も年々低下傾向にあり、令和4年の合計特殊出生率は、1.28と、県平均の1.27をわずかに上回ったものの、少子化の要因の一つである婚姻率の低下や非婚化、晩婚化も進んでおり、結婚、出産、子育てのそれぞれのステージに応じた支援が必要である。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)          &lt;当年度の少子化対策の全体像&gt; ※全事業共通          ・直面する人口減少問題について理解を深め、自分の理想とする将来について考えるきっかけとなるライフデザイン講座を実施し、若い世代の希望を叶えるための一助とする。          ・新発田市の婚姻率は、連携事業開始の平成29年度は4.5、平成30年は4.1、令和元年是4.0、令和2年度は3.6、令和3度は3.1であり、コロナ禍による影響で婚姻数が落ち込み、その後令和4年度においても3.0と回復が遅れている状況にある。これは圏域内でも同様であり、婚姻数低下は出生数低下に直結することからも、引続き結婚を希望する人達へ出会いの場を提供するとともに、相談事業やアフターフォローを含めた切れ目のない結婚支援が必要である。          ・「安心して妊娠・出産できる支援の充実」につなげていく。          ・出生数は減少傾向にある一方、あらゆる支援を必要とする子育て世帯が増加している。          そのようなことから、子育て支援機能の強化として、市ではいち早く令和5年4月からこども家庭センターを設置し、新たな拠点で母子保健機能と児童福祉機能の連携を図りながら、様々な子育て支援策を展開している。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;          中学生を対象に、直面する人口減少問題について理解を深め、子ども達が、将来に希望を見出し、自分の理想とするライフデザインを具体的に考えるきっかけとなる機会を学校や地域と連携し提供することで、早い段階で、自身の希望する将来に向かって自立的に行動し、希望を叶える一助となる取組を実施する。          各学校の地域や子ども達の実情に応じた内容となるよう、学校と打ち合わせをしながら実施する。また、職場体験学習のある2学年を対象とし、より自分の将来についてイメージしやすいよう、実施時期や内容を工夫する。</p> <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))          令和3年度に3校で実施し、その後令和4年度3校、令和5年度4校と実施することで、市内全中学校(10校)を一巡した。各年度の中学2年生を対象に実施してきたため、受講できる生徒と、できない生徒がいることとなり課題であったが、令和6年度は市内全中学校(10校)の2年生を対象にライフデザイン講座を実施したい。          大規模校については、教員向けに事前レクチャーを行うことで情報共有を図り、生徒に適切なアドバイスが行き渡るよう支援する。          なお、実施した内容や成果をさらに共有しやすくするため、事前・事後アンケート結果を、テキストマイニングを活用してアンケート結果の見える化を図り、生徒にもフィードバックする。          また、各学校へ情報提供することで、課題の共有及び意識啓発を図る。</p>		

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
1	ライフデザイン講座の実施	市内の中学2年生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を市内全中学校10校で実施したい。 実施内容としては、講座とグループワーク、ライフプランの作成、グループ発表を行い他者との共有を図る。 ①将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、進学、仕事、結婚、出産、子育て、ワークライフ・バランス各々の知識や情報について総合的に学ぶ機会を提供する。 ②様々な働き方・生き方を共有する:アンケートを元に人気の職業や将来どのようになりたいかを共有し、多様な働き方、生き方があることを知る。 ③自身の未来をライフデザインする:進学、仕事、結婚、出産など理想とする暮らし・将来像をイメージし、自身のライフデザインを描く。 ④希望を叶えるために何をするか考える:理想とする将来を実現するために、進学・就職・結婚・など人生の分岐点において自分で選択するヒントを見つける。 対象校:市内全中学校10校819人、(うち大規模校4校584人) 大規模校では、教員向け事前レクチャーを行い、生徒に適切なアドバイスが行き渡るよう支援する。 生徒が進路や仕事、結婚、子育てなど、自身の理想とするライフデザインを描き、他者と共有することで、多様な考え方、生き方があることを理解し、様々な視点で自身の将来について具体的に考え、行動するためのスキルを総合的に学ぶ講座を、当該事業に精通した事業者へ委託し実施する。 より将来像をイメージしやすくするため、職場体験学習終了後の実施を各学校に勧め、結婚や子育てについて押し付けとにならないよう配慮しながら自分事として考える機会とする。	○	○
2	アンケートの実施、報告書の作成配布	講座開始前後に生徒にアンケートを実施しその結果や、講座実施内容、成果をまとめた報告書を作成し、市内全中学校に配布し情報共有を図る。 さらに共有しやすくするため、事前・事後アンケート結果を、テキストマイニングを活用してアンケート結果の見える化を図り、生徒にもフィードバックする。	○	○
3	共有・周知	講座実施内容、講座開始前後のアンケート結果など、成果をまとめた報告書を市のホームページに掲載し、また一部の公共施設に配置することで広く周知する。	○	
【次年度以降に向けた事業の方向性】 教員にもアンケートを実施することで、より効果的に実施されるよう見直しを図る。				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 茨城県那珂市 中学生のためのライフデザインセミナー				

KPI項目		単位	目標値	現状値	
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	婚姻率		3.0(令和9年)	3.0(令和5年)	
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率		1.28(令和4年)		
	婚姻件数	件	282(令和4年)		
	婚姻率		3.0(令和4年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加目標人数	人	819	235(R5)
	2	参加目標に対する達成率	%	85	84.8(R5)
	3				
		(アウトカム)			
	1	結婚や子育てに対する意識が高まったと回答した生徒の割合(満足度)	%	75	71.1(R5)
	2	理想とするライフデザインを考えるきっかけとなったと回答した生徒の割合	%	90	89.4(R5)
	3	地域の現状や課題に対する理解が高まったと回答した生徒の割合	%	92	91.9(R5)
4	男女がそれぞれの立場を尊重しながら結婚や子育てをすることが大切だと回答した生徒の割合	%	96	95.4(R5)	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	なし				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	県内の中高生を中心にキャリア教育分野で実績のある民間事業者と連携し、地域や子ども達を取り巻く環境の課題を分析、共有し、専門的な知識とノウハウを有する事業者へ業務委託することで、効果的、効率的に事業を実施する。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

## 積算内訳書

1. 地方自治体名	新潟県新発田市		
2. 個別事業名	中学生向けライフデザイン講座		
	対象経費支出予定額:	1,848,000	円

## 3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費		
			交付対象事業費	交付対象外事業費	
1		中学校6校分			
2	委託料	講座資料作成（共通1回）	110,000	110,000	
3	委託料	人件費（6回分）@66,000×6回	396,000	396,000	
4	委託料	交通費（6回分）@5,500×6回	33,000	33,000	
5	委託料	アンケート作成・集計 作成1回（前後2種類）@22,000、集計事前・事後2種類×6回分@49,500×6回	319,000	319,000	
6	委託料	実施報告書（6回分）@27,500×6	165,000	165,000	
7					
8		大規模中学校4校分			
9	委託料	教員向け事前講座（4回）	264,000	264,000	
10	委託料	人件費（4回分）@66,000×4回、サポート分@16,500×4回	330,000	330,000	
11	委託料	交通費（4回分）@5,500×4	22,000	22,000	
12	委託料	アンケート作成・集計 作成1回（前後2種類）@11,000、集計事前・事後2種類×4回分@22,000×4回	99,000	99,000	
13	委託料	実施報告書（4回分）@27,500×4	110,000	110,000	
		計	1,848,000	1,848,000	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
交付対象事業費	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	1,848,000	0	0	0	0	1,848,000
交付対象事業費	1,848,000	0	0	0	0	1,848,000

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント名称	所要額(X)※	参加予定人数(Y)	(参考)過去の同セミナー・イベントの人数	一人当たりコスト(X÷Y)
1	ライフデザイン講座	1,848,000	819		2,256
2					0
3					0

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。